

# 東京・明治大学での事前学習 (3地域共通プログラム)

## 派遣学生への事前説明会及びグループワーク (天童市6月12日, 鳥取県・鯖江市19日)

プログラムの趣旨についての説明がなされた後、学生たちは、参加地域ごとに分かれてのガイダンスに臨みました。ガイダンスには、鳥取県・伯耆町、山形県天童市、福井県鯖江市から担当者をお招きしており、各自治体の概要や課題の詳細についてレクチャーを受けました。今年度の課題の共通事項である「地方創生」について、各自治体の取り組みや、今後の方針等について詳しく講義して頂きました。

レクチャー終了後には、学生たちはグループワークを開始。8月～9月に実施する現地調査に向け、7月に実施する事前の調査について検討を始め、各担当者へ質問をしていました。



## 事前研修「地域活性化について」(7月3日)

学生派遣プログラムでは、現地の自治体職員、地場産業に携わる人々など地域住民との交流・調査・取材を通し「地域活性化への提言」を行います。今回は、課題の共通事項が「地方創生」であったことから、木村乃商学部特任准教授に地方創生、地域活性化について講義して頂くことになりました。

木村乃商学部特任准教授は、商学部特別テーマ実践科目において「地域の元気をプロデュース」をテーマとした講座のコーディネータを務められており、「ヨソ者」である学生たちに期待されていることなどをお話し頂きました。事前準備の大切さ、現地調査で行うこと、地域が抱える問題の本質など、限られた期間の中でいかにして有意義な活動が出来るかについて考える内容の講義でした。

講義を受けたあとに行われたグループワークにおいても、各班とも活発な議論が交わされ、課題に対してのアプローチ方法を木村先生に相談する班もありました。



## 事前研修「ファシリテーション研修」(8月3日)

源由理子グローバル・ガバナンス研究科教授が講師として実施した\*ファシリテーション研修では、8月上旬から始まるフィールドワークに向け、議論の進め方やコミュニケーションの取り方などについて、ワークショップを交えて学びました。

\*「ファシリテーション」とは、

ものごとが円滑に進行するよう促す行為・技術・方法。会議等のマネジメント技法として用いられる。